

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎運動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜2限	教室名	2校舎501教室
担 当 教 員	山下 浩平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各関節の解剖及び運動について、関節の構造、各運動方向と筋の作用について実技を交えて講義する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 期末レポート:70% 2. 授業内課題:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章「運動器の解剖と機能」						
《授業外における学習方法》						
次週の内容を教科書で読み込み、読めない漢字を調べておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
全ての基礎となる人体の構造のうち、運動器系の知識を体得すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学の導入を理解し、解剖学に慣れる	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第2章 「運動器の解剖と 機能」	特になし	
		各コマにおける授業予定	イントロダクション 体表の区分、位置、方向用語(体表解剖)(専門科目) 運動の表し方(専門科目) 細胞、組織			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器の基礎である骨と、それにより構成される関節を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第2章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	運動器の構造と機能 骨(専門科目) 骨の発生と成長 運動器の構造と機能 関節(専門科目)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と働きを理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第2章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	運動器の構造と機能 筋(専門科目)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管と神経の構造と働きを理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第2章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	運動器の構造と機能 血管(専門科目) 運動器の構造と機能 神経(専門科目)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎の構造を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第2章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	脊柱の解剖 頸椎の解剖			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎以外の脊中と胸郭・骨盤の構造を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	胸椎と胸郭の解剖 腰椎、仙椎、骨盤の解剖		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎の関節とその運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	脊柱の運動(専門科目) 頸椎の運動(専門科目)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸郭・骨盤周辺の運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	胸椎と胸郭の運動(専門科目) 腰椎、仙椎、骨盤の運動(専門科目)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩甲骨・鎖骨・上腕骨の解剖を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	上肢帯の解剖 肩関節の解剖		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節・胸鎖関節・肩甲胸郭関節の運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	上肢帯の運動(専門科目) 肩関節の運動(専門科目)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩甲上腕関節の運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	上肢帯の運動(専門科目) 肩関節の運動(専門科目)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腕尺関節・腕橈関節・上橈尺関節・橈骨手根関節の構造を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	肘関節の解剖 手関節、手の解剖		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節・手関節の運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	肘関節の運動(専門科目) 手関節、手の運動(専門科目)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節・手関節の運動を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	肘関節の運動(専門科目) 手関節、手の運動(専門科目)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	腸骨・恥骨・坐骨・その他周辺解剖を理解する	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	股関節の解剖		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎運動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 月曜2限	教室名	2校舎501教室
担 当 教 員	山下 浩平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各関節の解剖及び運動について、関節の構造、各運動方向と筋の作用について実技を交えて講義する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 期末評価:70% 2. 授業内課題:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章「運動器の解剖と機能」						
《授業外における学習方法》						
次週の内容を教科書で読み込み、読めない漢字を調べておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
全ての基礎となる人体の構造のうち、運動器系の知識を体得すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第1章 「運動器の解剖と 機能」	特になし	
		各コマにおける授業予定	股関節の運動(専門科目)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第1章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	股関節の運動(専門科目)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第1章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	膝関節の解剖			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第1章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	膝関節の運動(専門科目)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成 テキスト第1章 「運動器の解剖と 機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)	
		各コマにおける授業予定	膝関節の運動(専門科目)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	足、足部関節の解剖		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	足、足部関節の運動(専門科目)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の解剖を理解する(骨・関節・軟部組織・筋肉・神経など)	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	足、足部関節の運動(専門科目)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	各脊柱棘突起などの触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	体表解剖(脊椎、骨盤)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	各脊柱棘突起などの触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	体表解剖(脊椎、骨盤)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩・上腕・肘・前腕・手の触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	体表解剖(上肢)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩・上腕・肘・前腕・手の触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	体表解剖(上肢)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	股・大腿・膝・下腿・足の触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	股・大腿・膝・下腿・足の触察		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	股・大腿・膝・下腿・足の触察	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	体表解剖(下肢)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	鍼灸 解剖学 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章 「運動器の解剖と機能」	前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に)
		各コマにおける授業予定	まとめ		